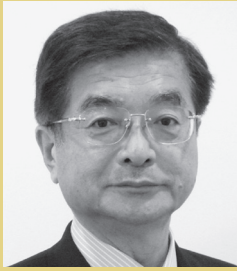




## 私の思い出写真館

# 化学技術者としては “落語(伍)者でした”



齋藤 敏一  
ルネサンス  
取締役会長

実は私には「遊び亭一生」という芸名があります。もちろんアマチュア落語家なので、芸名は自分で付けました。私は35歳の時企業内ベンチャーでスポーツクラブ事業を起業しましたので、まさに芸名通りの人生になってしまった訳です。

私は大日本インキ化学工業(現DIC)に入社してからスイス連邦工業大学に留学し、イタリアのルネサンスにかぶれて帰国して、中央研究所に3年間勤務した後、千葉工場の石油化学技術部に転勤しました。そこには現DIC会長の杉江さんが技術者としておられ、机を並べていたのですが、仕事はもっぱら杉江さんの担当で、私は落語同好会やテニスサークル、大規模な日曜農園、音楽会などレクリエーションを一手に引き受け、技術者としては落語(伍)者になってしまいました。



1973年12月  
大日本インキ化学工業(現DIC)千葉工場にて  
落語同好会の発表会

その後、私は海外事業部に移って3年ほどビジネスの勉強をさせてもらい、35歳の時会社にDIC製品のウレタン樹脂(テニスコートの原料になる)の販売促進になるからと言って落語的なインドアテニススクールの企画書を書き、まんまと役員会を通し、現在に至った訳ですが、私の魂胆はお見通しだったようです。

近ごろは自分で落語を演ずることはありませんが、委員会などで発言するとつい落語調になり、笑いを誘ってしまいます。

スポーツクラブの会員もシニアの方が増え、今はむしろ病気予防や介護予防に事業の幅を広げております。

健康のためには「運動」と「笑い」が一番。私に落語的企業人生を送らせてくれた皆さまに少しでも恩返しをしたいと思っております。